体協だより スポーツ高岡

公益財団法人高岡市体育協会は令和６年４月１日から
公益財団法人高岡市スポーツ協会に名称変更いたします

第32号

創設60周年記念　高岡市スポーツ少年団大会

11月23日（木・祝）竹平記念体育館で開催され、総勢39団・362名が参加しました。今年行われた各大会での活躍チームが優勝旗披露を行ったほか、指導者８名、６年生団員210名（リーダー 41名、団員169名）を表彰しました。式典の最後には、代表団員５名が力強く、誓いの言葉を述べました。

また、今年度は創設60周年の節目の年を迎えることから、リオデジャネイロ五輪 女子レスリング48kg級 金メダリストで高岡市スポーツ少年団出身の登坂絵莉さんを講師に迎え「夢をつかむ」と題し、記念講演会を行いました。団員は、登坂さんの金メダル獲得までの道のりや普段の生活で取り組んでいたことなどの話を熱心に聞いていました。参加者の中から将来の金メダリストが出てくることを期待しています！

高岡市スポーツ少年団研修会

12月17日（日）、県営高岡総合プール会議室で一般社団法人スポーツフォーキッズジャパン代表の澁倉崇行氏を招き開催しました。

アンガーマネジメントとは、怒りの感情と上手に付き合うための心理的トレーニングのことです。「こうあるべき」と自分の理想で決めつけず柔軟に考えること、怒りの感情には長さがあり「６秒待つ」ことで怒りに巻き込まれず冷静に指導が出来ることなどをご講義いただきました。

演題「怒りで失敗しないための『アンガーマネジメント』がコーチと選手を救う」

約50名の指導者・保護者等が参加

アンガーマネジメントという初めての研修内容で、参加者は自らの指導力を高めるため真剣な表情でメモを取り、質疑応答では自分の指導法について助言を求めていました。

高岡市ジュニアタスキリレー

11月23日（木・祝）、高岡西部総合公園内で開催しました。

市内の小学３年から６年の112名が参加し、男子18チーム、女子10チームでタスキリレーを行いました。

天候にも恵まれ、参加者は1区間約900mを仲間や保護者からの声援を受け、精一杯走りチームのタスキを繋いでいました。

後日、参加チームには完走証、上位入賞チームには賞状が贈られました。

◆大会結果

男子	１位	定塚FC　Aチーム
	２位	こども陸上クラブホップA
	３位	定塚FC　Bチーム
女子	１位	古城ジュニアバドミントンクラブ女子A
	２位	南条ジュニアバドミントンクラブ
	３位	陸上クラブTeamSUNS

令和５年度　（公財）高岡市体育協会表彰（児童・生徒）

■小学生（個人）

秋田　昊南（福岡小学校）
とびうお杯第38回全国少年少女水泳競技大会
男子4×50mメドレーリレー　6　位

舛田　舞羽（古府小学校）
第31回全国小学生バドミントン選手権大会
女子シングルス4年生以下　2　位

廣上　結己（西条小学校）
第9回全国小学生フェンシング選手権大会
小学男子エペ　6　位

松井ひなた（中田小学校）
第13回全日本小学生ボウリング競技大会
小学6年生女子の部　8　位

高森　心也（高陵小学校）
第13回白鵬杯
小学2年生　2　位

角谷　芽咲（野村小学校）
令和5年度第40回全国少年少女レスリング選手権大会
女子5年＋48kg級　3　位

■中学生（個人）

山本　隼士（南星中学校）
第44回JSCAブロック対抗水泳競技大会
男子11～12歳 100mバタフライ　4　位

進藤　咲月（南星中学校）
第45回全国JOCジュニアオリンピックカップ
春季水泳競技大会
女子11～12歳 50m平泳ぎ　2　位

坪田　紗良（南星中学校）
第45回全国JOCジュニアオリンピックカップ
春季水泳競技大会
女子9～11歳 1m飛板飛込　優　勝

堀田みず希（南星中学校）
第20回全日本中学生女子相撲大会
軽量級（60kg未満）　3　位
第10回全日本ＵＪボクシング王座決定戦
中学女子57kg級　優　勝

■高校生（団体）

高岡向陵高等学校　相撲部
第72回全国高校相撲十和田大会　3　位

■高校生・高専生（個人）

鎌田望琥人（高岡商業高等学校）
第45回全国JOCジュニアオリンピックカップ
春季水泳競技大会
男子15～16歳100m平泳ぎ　優　勝

高桑　沙希（高岡南高等学校）
第45回全国JOCジュニアオリンピックカップ
春季水泳競技大会
女子 1m飛板飛込　3　位

坂田　力毅（富山国際大学付属高等学校）
第45回全国JOCジュニアオリンピックカップ
春季水泳競技大会
男子14～15歳 1m飛板飛込　優　勝

森　祐太（高岡商業高等学校）
特別国民体育大会水泳競技
男子少年B 100mバタフライ　3　位

五十嵐　翔（高岡向陵高等学校）
第107回高等学校相撲金沢大会
個人　優　勝

大島　稜也（高岡工芸高等学校）
特別国民体育大会弓道競技
少年男子の部　遠的競技　2　位

中嶋　一郎（高岡工芸高等学校）
特別国民体育大会弓道競技
少年男子の部　遠的競技　2　位

前田　樹大（高岡向陵高等学校）
2023年度JOCジュニアオリンピックカップ
全日本ジュニアレスリング選手権大会
U17男子フリースタイル65kg級
3　位

山本　天雅（氷見高等学校）
令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会
男子　3　位

長田　八重（富山高等専門学校）
第58回全国高等専門学校体育大会柔道競技
女子無差別級　2　位

活躍している高岡の若者

高岡市で活躍しているスポーツ選手を紹介します。
今回は高岡向陵高等学校相撲部３年の五十嵐翔選手（南星中学出身）です。数多くの大会で優秀な成績を収めている五十嵐選手にお話を聞きました。

（取材日：令和６年１月22日）

Q１ 相撲をはじめたきっかけを教えてください。

A１ 小学5年生の時に当時は体が大きかったので、「相撲やってみないか？」と学校の先生に誘われたからです。

Q２ 今までで一番印象に残っている試合を教えてください。

A２ 金沢大会の準決勝です。自分がこれまで磨いてきた突き押し相撲が一番発揮できたからです。

前列中央が五十嵐選手

Q３ 相撲以外で好きなスポーツはありますか？

A３ 格闘技と野球です。

Q４ 今後の目標を教えてください。

A４ 高校を卒業してからの次の道でも必ず日本一を獲ります。

ご協力ありがとうございました。今後の活躍も期待しています。

スポーツ教室 ～かんたんストレッチ＆ウォーキング教室～のご案内

例年、東洋通信スポーツセンターで開催しておりました「かんたんストレッチ＆ウォーキング」教室は、令和６年能登半島地震の影響で休館中のため、高岡スポーツコアで行うことになりました。

スポーツコアにあるウォーキングコースや周辺のおすすめコースも考えておりますので、一緒に脚力をきたえ、ストレッチで身体をほぐし、健康づくりをしましょう！

※申込方法等は「市民と市政」令和６年３月号をご覧ください。

「土曜っ子スポーツチャレンジ」に参加しよう！（対象：小学1～3年生）

土曜っ子は、土曜の午前中に元気に楽しく身体を動かそうという事業です。様々なスポーツに触れ合ってみたい人や自分に合ったスポーツを探したい人、他の学校の友達を作りたい人にピッタリです。学校ではできないスポーツを体験することができますよ！！

ぜひ、土曜っ子に参加して、色んなスポーツにチャレンジしてみましょう！

	春期「ランニングやボールを使った運動」
主な内容	走・跳・投の運動、サッカー、ラグビーなど
期日（回数）	4月27日～7月6日（6回）
時　間	9時～ 10時30分
会　場	城光寺陸上競技場
定　員	100名
参加料	3,000円

※申込方法など詳細については、学校を通して配布するチラシをご覧ください。
※秋には、バレーボール、フレッシュテニス、卓球、柔道などをする秋期コースを予定しています。

地域スポーツ

高岡市スポーツ少年団ミニバス部会

ウエスタン・キッズ

代表指導者　堀田　　翔

　ウエスタン・キッズミニバスケットボールクラブは、高岡西部地区の小学生の児童を主体として1年生から6年生までの児童で構成され男子26名で活動しています。高岡西部中学校体育館を中心に毎週火・水・金・土曜日の４回練習を行っています。

　今年度は、第33回富山県スポーツ少年団競技別総合交流大会、第40回富山県秋季U12バスケットボールリーグ、第47回富山県春季ミニバスケットボール大会の3つの県大会で優勝を成し遂げ、第55回全国ミニバスケットボール大会に出場することが出来ました。

　チームのスローガンである「ひたむきに挑戦・感謝・思いやり」の３つをバスケットボールを通して、育てることを指導理念として活動しています。目標に向かってひたむきに挑戦することや支えてくださるすべての方々への感謝を忘れずに、仲間を思いやりバスケットボールができる喜びをチーム全員で共有出来るようにこれからも頑張っていきたいと思います。

　体験・見学も含め、新入部員を随時募集しています。どうぞよろしくお願い致します。

注目チーム　―伏木海陸運送㈱硬式野球部―

　伏木海陸運送株式会社硬式野球部は、都市対抗野球大会出場６回、社会人野球日本選手権大会出場４回を誇る強豪チームです。

　選手たちは、会社でそれぞれの部署において仕事をした後、野球をしています。

田中監督

　田中翔監督に2024年シーズンに向けての抱負やチームの注目選手などを聞いてみました。

Q１　仕事の後に練習となると、限られた時間ですることになりますが、気をつけていることなどはありますか？

A１　選手たちが自主的に取り組んでくれるので、助かっています。全体の練習に加え、足りない部分は個人のコンディションに合わせながら補う様子が見られます。

Q２　2024年シーズンに向けての抱負を教えてください。

A２　2024年は、会社の80周年にあたる年です。あと、都市対抗野球北信越地区2次予選が富山県開催となるので、ぜひ記念の年に富山県で予選を突破し本大会の出場を決めたいです。

Q３　チームの投打の注目選手は誰ですか？

A３　期待の選手はたくさんいますが、投手は同級生の西納敦史選手に長く頑張ってほしいと思っています。打はベテランの番場駿選手、若い牧田龍輝選手が楽しみです。

　能登半島地震で伏木地区が大きな被害を受けた中で、快く取材に応じて下さり、ありがとうございました。話を伺いながら、田中監督率いる選手たちがはつらつとしたプレーで伏木や高岡に元気を届けてくれることを確信しました。がんばれ！ＦＫＫ！！

編集後記

　2024年の幕開けは能登半島地震というとんでもない出来事から始まり、今も尚復旧が進んでいない状況があちこちで続いております。一日も早い日常が戻って来ますように。

　さて、今年3月下旬、私が所属するビーチボールのジャパン選手権大会が高岡で開催されます。思えば4年前、開催を目前にして「新型コロナ」で急遽中止になった大会です。今年こそはと準備をしていたのですが、会場の予定だった東洋通信スポーツセンターがこの地震で使用出来なくなり、又も中止かとの思いが頭を過りました。しかしながら、高岡市ふくおか総合文化センター（Uホール）アリーナが使用できることになり、まずは一安心。参加されるチームからも励ましと感謝のメールが沢山届いています。この大変な時だからこそ、全国の大勢の方々に高岡に足を運んで貰い、プレーを楽しみ、高岡を視て、高岡に大きなエールを送って頂ければと思います。ご協力を頂いた多くの方々に感謝。　　広報委員　高野　真喜